

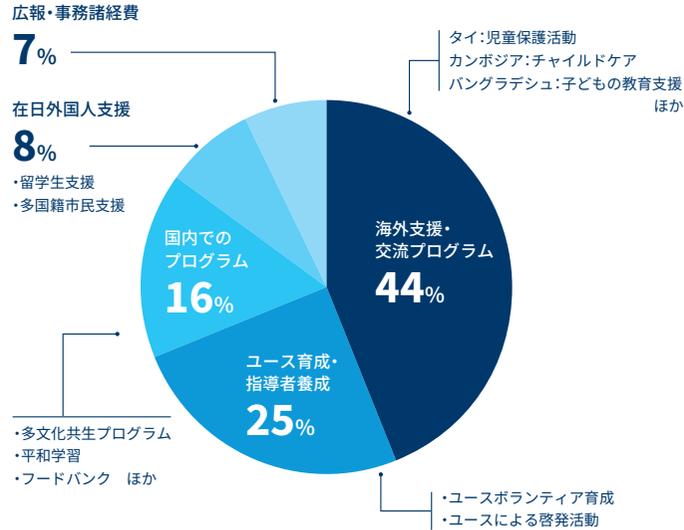
国際協力募金報告

2021年度に全国のYMCAに

38,763,130円

が寄せられました。

主な募金の使途



YMCAは、貧困で苦しむ人への支援、子どもの教育支援、戦争や紛争で傷ついた人のケアなど、世界に広がるネットワークを通して取り組んでいます。

世界で学校に通っていない5～17歳の子ども

3億300万人

紛争や自然災害の影響を受ける国に暮らす子どもたちの5人に1人は一度も学校に行ったことがありません。(2018.9 Unicef)

世界で働いている5～17歳の子ども

1億6,000万人

世界の子どもの10%が児童労働をしています。(2020 Unicef ILO)

みなさまのご協力をお願いします。

ポジティブネット YMCA国際協力募金

本リーフレットで紹介している国際協力活動は「ポジティブネットYMCA国際協力募金」を用いて行われています。YMCAが目指す、かけがえのない、一人ひとりのいのちが大切にされる「ポジティブネット」のある豊かな社会の創造のために、募金へのご協力をお願いいたします。



お近くのYMCAへ

- ・窓口/イベント/ウェブサイト
- ・街頭募金への協力

YMCA 募金 検索



日本YMCA同盟の寄付サイト

クレジットカード決済、銀行振込、郵便振替をお選びいただけます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS YMCAの活動への参加は、SDGs(持続可能な開発目標)の達成にもつながっています。

全国のYMCA及びワイズメンズクラブ

北海道YMCA/盛岡YMCA/仙台YMCA/ぐんまYMCA/とちぎYMCA/茨城YMCA/千葉YMCA/埼玉YMCA/東京YMCA/在日本韓国YMCA/横浜YMCA/山梨YMCA/静岡YMCA/富山YMCA/金沢YMCA/名古屋YMCA/三重YMCA/滋賀YMCA/京都YMCA/奈良YMCA/大阪YMCA/和歌山YMCA/神戸YMCA/姫路YMCA/YMCAせとうち/広島YMCA/北九州YMCA/福岡YMCA/長崎YMCA/熊本YMCA/鹿児島YMCA/沖縄YMCA/学生YMCA/日本YMCA同盟/ワイズメンズクラブ国際協会東日本区/ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

発行 日本YMCA同盟

〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町2-11
Tel:03-5367-6640 fax:03-5367-6641
info@japanymca.org



子どもが、 未来を創る。

ポジティブネットYMCA国際協力募金



YMCAの国際協力

一人ひとりのいのちが大切にされる、
「ポジティブネット」のある豊かな社会を目指します。

- 子どもたちの「遊びたい!」「学びたい!」ができるように
- 若者の「地域や世界をより良く変えたい!」が実現できるように
- 互いを大切に思い、平和な社会を創ることができるように

これらの活動は、みなさまから寄せられた
YMCA国際協力募金を用いて行っています。



YMCAは世界120の国と地域でおよそ6500万人の会員を有するNGO(非営利組織)です。地域社会に根ざし、人びとのウェルビーイング、やりがいのある仕事と環境の想像、持続可能な地球、公正な世界の実現のための活動をしています。日本のYMCAは1880年に東京で誕生。現在は、「みつかる。つながる。よくなっていく。」をスローガンに、全国35都市、200を超える拠点で14万人が参加。幼児から高齢者まで、一人ひとりが健康でより良く生きられることをめざしています。子どもとその家庭に寄り添い、成長を見守る「YMCA伴走サポート」、グローバルネットワークを活かした交流や学びは特徴的な取り組みです。

各国の状況や募金による活動(一例)

YMCAは平和を希求し、平和のために働く

ウクライナ避難者支援活動

日本のYMCAではヨーロッパのYMCAと連携し、ウクライナからの来日避難の支援、生活サポートを行っています。2022年3月初旬にウクライナから日本への避難を希望された高齢女性の来日が実現し、半年の間にYMCAを通して来日避難をした方は70組154名にのぼります。現在は、来日避難の相談を継続しながら、日本での生活サポートも行っており、557名の方とつながりました。祖国から遠く離れた慣れない土地での長引く避難生活は、経済的な課題や心理的負担も大きく、深刻な孤立や孤独に陥らないよう、避難者一人ひとりの様子を注意深く見守ることを大切にしています。ヨーロッパYMCAによるウクライナおよび近隣諸国での避難者支援も、第三国での定住、就労、教育、健康など個別度の高い、生活に密着したニーズに対応しています。避難をされている方がより安心して生活できるよう、活動を続けていきます。*人数はいずれも2022年8月末時点



避難者が集まり交流や情報交換



生活上の相談や悩みを聞く

気候変動への取り組み

持続可能な地球のためにアクションを起こすことは、世界のYMCAの行動計画「Vision2030」の柱の一つです。2021年10月にイギリスのグラスゴーで開催されたCOP26*には、世界のYMCAから若者の代表18名が参加しました。若者がリーダーシップを取って行っているコンポスト設置、森林再生の活動、廃棄物のアップサイクルなど、YMCAが取り組んでいる活動を報告しました。*第26回国連気候変動枠組条約締約国会議



COP26に参加した世界の若者



Vision2030は、私たちの身の回りにある社会課題やSDGsにも関連するグローバルな課題に対してアクションを起こすための、世界YMCA共通の行動計画です。人びとのウェルビーイングや地球温暖化など4つの社会課題と、それぞれに対する12の行動目標が示されています。

カンボジア YMCA

プノンペンのスラム街に住む、行き場を失った子どもたちが、安全なスペースで学習し生活できるよう支援をしています。学んで知識を得ることで、自らのいのちを守り、社会参画や就業など将来の選択の幅が広がります。チャイルドケアセンターでの子どもの保育はシングルマザーのサポートになります。



東ティモール YMCA

今年で建国20年の東ティモール。子どもや若者たちが将来、地域社会に貢献できるチェンジ・エージェント*になることを願い、心身の成長を育むサッカークラスや、日本語の学習機会を提供しています。2021年4月には大雨による洪水で被害を受け、緊急支援をしました。*チェンジ・エージェント:社会の変革の担い手



ミャンマー YMCA

2021年2月に起きたクーデターにより、依然として人びとが困難な状況にあります。不当な逮捕や暴力による犠牲者は900人を超えました。人びとのいのちが守られるよう、暴力によらない抗議活動に連帯し、勉強会や集会、募金活動が継続されています。



カンボジアの子ども



洪水で浸水した東ティモールYMCA

パレスチナ難民支援

パレスチナの人々はイスラエルとの共存の中で、自分の土地や家が、ある日突然奪われたり、丹精込めて育てた農作物が根こそぎにされ、命の危険を感じることもあります。そのような中で安心して過ごせるYMCAでは、スポーツジムの運営、自動車整備やICT関連の職業訓練、妨害によって十分に教育が受けられない子どもの教育支援を行っています。

オリーブの苗木を送る「オリーブの木キャンペーン」は、地元の農家を支えること、世界にパレスチナの状況を伝え、多くの人が連帯することを目的としています。日本のYMCAからはこれまでに1,000本を超えるオリーブの苗木を送りました。



教育支援を受ける子どもたち